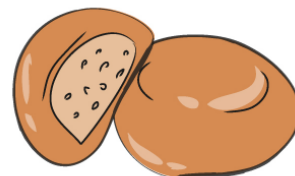


「三つめのおまんじゅう」

連休中の五月二日に「八十八夜（はちじゅうはちや）」というのがありました。ちょうど一週間前ですね。先週の金曜日、給食で、八十八夜にちなんでお茶をつけたかき揚げが出ましたね。お茶の風味がしておいしかったですね。白井先生から「お昼ごはんまで〜す」でも紹介されたとおり、八十八夜は、二月に豆まきをした節分の翌日の「立春」から数えて、八十八日目に当たる日のことです。もうすぐ夏ですから、準備をしましょうという日で、この頃からお茶摘みをします。八十八夜に摘んだお茶を飲むと健康になると言われています。

さて、今日は笑い話をします。どこがおかしいのか、よく聞いていて下さい。

昔、ある所にびん助さんという人がいました。ある日、びん助さんはお腹が空いたのでおまんじゅうを食べることにしました。



1つ目を食べましたが、お腹がいっぱいになりません。

そこで、2つ目のおまんじゅうを食べました。それでもまだお腹がいっぱいになりません。それで、3つ目のおまんじゅうを食べたらやっとお腹がいっぱいになりました。

その時、びん助さんが言いました。

「なんだ、こんなことなら初めから3つ目のおまんじゅうを食べればよかった。」

何がおかしいか、わかりましたか？

・・・そうですね。3つ目のおまんじゅうだけでお腹がいっぱいになったのではなく、1つ目、2つ目とおまんじゅうを食べたので、3つ目でお腹がいっぱいになったのですね。

実は、この笑い話は、みなさんの勉強についても言えることです。

例えば、漢字の勉強にあてはめてみましょう。

1つ目のおまんじゅうは、漢字の正しい形や書き順を覚えることです。

2つ目のおまんじゅうは、お手本を見ながら自分で書いてみることです。

そして、3つ目のおまんじゅうは、自分の書いた字と正しい字を見比べて確かめることです。

びん助さんが言っていた初めから3つ目のおまんじゅうをたべるように、いきなり3つ目の漢字を見比べるだけでは、正しい漢字を覚えることはできません。

この笑い話は、勉強は、一つ一つしっかりと積み重ねていくことが大切であるという例え話なのです。

昨日で、ゴールデンウィークの連休も終わりました。みなさんも、びん助さんのように3つ目のおまんじゅうを食べれば・・・とは思わずに、今週からまた、じっくり気持ちを落ち着けて学校生活を送り、勉強を一つ一つ積み重ねていって下さい。

これで今日の話が終わります。